

2012年(平成24年)4月(1)

おたる 西別院だより

季刊 第100号



創刊当時の別院だより

宗祖親鸞聖人降誕会

5月20日(日)

※降誕会は親鸞聖人のご誕生を祝う法要です

5月20日は月忌参詣をお休みさせていただきますので
どうぞお寺にお参りください

ご正当参拝と別院だより100号発刊によせて

新たな始まりとして



小樽別院輪番 渡邊 信

この度おたる西別院だより百号という節目を迎えさせていただくことができました。別院有縁のみなさまのご協力・ご尽力のもとここまで来れたことに改めて感謝申し上げます。

創刊からおよそ三十年、その歴史を辿りますと昭和五十六年六月、当時の教重文雄ご輪番が伝道教化のため定期刊行物として創刊されたのが始まりと伺っております。

百日参拝や日曜仏教講座、テレホン法話もこの時期に始められたそうであります。境内に親鸞聖人像が建立さ

れてから別院会館が完成する、まさに新しい時代の幕開けであったようでありま

す。いつの世にあつても節目を迎えるということは、過去の時代に思いを馳せるとともに、次世代を見据えていく始まりであります。

その中であつて本山本願寺でお勤まりになりました親鸞聖人七百五十回大遠忌法要、その御満座（最後の法要）法要に引き続いて発布されました御門主のご消息は、まさしくそのことをお示しくございました。

【教え】は変わらざとも時代とともに【社会】は変わっていきます。時代に寄り添えるよう、心豊かに生きられる社会を目指しましょう

眼前で告げられたご門主のお言葉は、ご法要の円成をお慶びになるだけのものではなく、まだやり残し

見直しが必要な問題の存在を痛感させられるものであります。

この四月から小樽別院もご門主の思い・門信徒のみなさまの思いをしっかりと受け止め、法務にあたる所存であります。

それとともに教重ご輪番が別院だよりのスローガンとして掲げられた「小樽に念仏の 友垣の輪を ひろめよう」を改めて大事にしていききたいものであります。

※ご正当とは、

五十年に一度のご法要に際し、ちょうど七五〇回忌を迎えるその日という意味です。

そして、新暦一月十六日が親鸞聖人のご命日であり、この度の大遠忌法要の最終日でした。

※「御消息」とはお手紙のこと。

特に浄土真宗では、さまざまなお縁に際して、歴代の宗主が、そのおこころを広く伝えるために出される書簡を「御消息」と称している。

親鸞聖人七百五十回大遠忌法要御満座を機縁として「新たな始まり」を期する消息

昨年の四月九日よりお勤めしてまいりました親鸞聖人七百五十回大遠忌法要は、本日ご満座をお迎えいたしました。各地から多くの方々にご参拝いただき、六十五日間百十五座にわたるご法要を厳肅にお勤めすることができましたのは、仏祖のご加護と宗祖のご遺徳のおかげであり、御同朋御同行の方々のご恩謝徳のご懇念のためものと、まことに有り難く存じます。

顧みますと、ご法要の始まる直前の三月十一日、東日本大震災がおこりました。その後も各地で地震、豪雨など災害が続き、大変な一年となりました。被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。法要参拝を楽しみに待ちながら、災害やさまざまの理由で参拝できなくなった方々のことを、忘れることができません。

地球の歴史を考えます時、自然現象としての地震や豪雨は、数限りなくあつたことでしょう。しかし、それが深刻な災害となるのは、人間のあり方、社会のあり方によります。特に、今回の原子力発電所の事故は、自然の調和を破り、後の世代に大きな犠牲や負担を強いることになりました。これは肥大した人間の欲望のもたらしたところであります。

聖人は、凡夫には清らかな心も真実の心も存在しないとお示しになりました。それは、阿弥陀如来の光に照らされて明らかになる私の姿です。凡夫の身でなすことは不十分不完全であると自覚しつつ、それでも「世のなか安隱なれ、仏法ひろまれ」と、精一杯努力させていきたいと思います。阿弥陀如来はいつでも、どこでも、照らし、よびつづけ、包んでいてくださいます。

本願念仏のご法義は、時代が変わり、社会が変わっても、変わることはありません。しかし、そのご法義が活きてはたらく場である現実の社会は、地域によって異なり、時とともに変わります。ご法義を伝え、広めるための宗門の組織も、社会の変化に応じて変わる必要があります。歴史を顧みて、受け継ぐべき伝統を確かめ、創造的な活動を育てていかなければなりません。本年四月一日から、宗門の体制が改められますのも、時代に即応する営みの一つであると言えましょう。新しい体制のもとで、一人ひとりが抱える課題を大切にし、お念仏を喜び心豊かに生きることのできる社会を目指しましょう。このたびの大遠忌法要が、新たな歩みを進める機縁となります。ますよう念願いたします。

平成二十四年 一月十六日 龍谷門主 釋 即 如
二〇一二年

今、東日本大震災を考える

平成二十三年三月十一日に発生した東日本大震災から一年の月日が流れました。

その間、宗門としての色々な見解が発表され、各地で復興に向けた活動が行われてきました。

今回はその中から、後志管内の同宗派寺院の壮年会（後志組仏徒連協）が行った仙台での炊きだしボランティアに参加した、小樽別院の仏教壮年会の伊藤淳介さんの話を紹介させていただきます。

日程は十一月十八日（金）から二十一日（月）までの三泊四日。倶知安の東林寺さんに午後六時半に集合したメンバーは八ヶ寺で十八名。マイクロバスに米・芋・ジンギスカンの材料をおよそ五百名分を積み込み、移動。函館港からおよそ五時間の船旅で青森港に到着しました。

そこから仙台にあるボランティアセンター（仙台別院）に入りました。

初日は名取市、2日めは岩沼市の仮設住宅地前での炊きだし。夜は仙台別院でのミーティング。活動報告を踏まえての話し合いで意見交換が行われました。



前列右から3番目が伊藤さん



現地入りして感じたのが、海沿いはまだまだ瓦礫の山とはいえ、町中はどこまでも見渡せるほど何もないということでした。

また、炊きだしの列に何度も並ぶ人がいても何も言えないのです。それでも多くの人々に感謝され、本当によかったです。

あと、印象に残ったのは仙台別院に寝泊まりするボランティアの方。浄土真宗に限らず、色々な宗派、宗教を信仰されている方が、みんな仙台別院に寝泊まりし、おあさじに一緒にお参りしている姿に感動しました。

当初は自分の体調の心配もある中、思い切って参加して本当によかったです。私の人生の中で有意義なボランティア旅行でした。

そして被災地の早期復興を心より願っております。

東日本大震災一周忌法要

平成二十四年三月十五日（木）午後一時半
於 小樽別院本堂

本願寺を始め、小樽佛教会も東日本大震災の一周忌法要が十一日に勤まりました。

小樽別院では三月十五日（この日は宗祖親鸞聖人の月忌法要併せて）に一周忌法要をお勤めさせていただきました。



東日本大震災パネル展

また、宗門災害対策本部の「すべての被災された方々の悲しみに寄り添いたい」との願いから、被災地・被災者の現状及びボランティア活動の内容など記録写真を通して一人でも多くの方々に周知することを目的にパネル展を別院本堂廊下にて実施しております。



お寺の行事カレンダー

5

日	月	火	水	木	金	土
		1 総参拜日 6:30	2	3	4	5
百日参拝スタート						
6 仏仕例会 18:00	7 お茶サークル 10:00 結いの会 13:00 彰心会 19:00	8	9 無量講 18:00	10 樹心会唯信講 11:00	11	12
常例布教 14:00~15:30						
百日参拝実施中						
13 法友会 18:00	14	15 仏婦例会 11:00 宗祖月忌 13:30 がやがや会 18:00	16 総参拜日 6:30 宗祖月忌 13:30	17	18	19 十九日講 12:00
常例布教 14:00~15:30						
百日参拝実施中						
20 宗祖降誕会	21 お茶サークル 10:00	22 おつとめ教室 14:00	23	24 お花サークル 10:00	25	26
百日参拝実施中						
27 日曜仏教講座 9:30	28	29	30	31		
百日参拝実施中						

6

日	月	火	水	木	金	土
					1 総参拜日 6:30	2
百日参拝実施中						
3	4 お茶サークル 10:00	5	6 仏仕例会 18:00	7 結いの会 13:00 彰心会 19:00	8	9 無量講 18:00
常例布教						
百日参拝実施中						
10 樹心会唯信講 11:00	11	12	13 法友会 18:00	14	15 仏婦例会 11:00 宗祖月忌 13:30 がやがや会 18:00	16 総参拜日 6:30 宗祖月忌 13:30
14:00~15:30						
常例布教 14:00~15:30						
百日参拝実施中						
17 日曜仏教講座 9:30	18 お茶サークル 10:00	19 十九日講 12:00	20	21	22	23
百日参拝実施中						
24	25	26	27	28 お花サークル 10:00	29	30
百日参拝実施中						

7

日	月	火	水	木	金	土
1 総参拝日 6:30	2 お茶サークル 10:00	3	4	5	6 仏壮例会 18:00	7 彰心会 19:00 結いの会 13:00 ← 常例布教
百日参拝実施中						
8	9 無量講 18:00	10 樹心会唯信講 11:00	11	12	13 法友会 18:00	14 ← 常例布教
常例布教 14:00~15:30 →						
百日参拝実施中						
15 仏婦例会 11:00 日曜仏教講座 9:30 宗祖月忌 13:30 がやがや会 18:00	16 総参拝日 6:30 お茶サークル 10:00 宗祖月忌 13:30	17	18	19 十九日講 12:00	20	21
14:00~15:30 →						
百日参拝実施中						
22	23	24	25	26 お花サークル 10:00	27	28
百日参拝実施中						
29	30	31				
百日参拝実施中						

月忌参り・お寺参りなどのお寺に関する行事を入れてみてください
たくさん印が入るとありがたいです

その他 カレンダーを見て、気になったもの、興味がわいたものがあれば
小樽別院 0134(22)0744までお問い合わせください

晨朝百日参拝のご案内

期 間 5月1日(火)より8月8日(水)まで100日間

時 間 朝6時半より1時間ほど

※経本の貸し出しも行っております。また毎日10分ほど法話がございます。職員と布教使が交代で行っております。

お寺さんのお説教を聞いてみたい、あるいは毎朝早起きしているという方、百日通おうと意気込まずに一度お参りに来てください。みなさんの生活が、生き方が少しずつ変わるような仏教との出会いがきっとありますよ。



編集委員の座談会

「おたる西別院だより創刊号を読む」

おたる西別院だより第百号。何ともめでたいこの節目に何かしたいですねと編集会議で話がありました。

そこで今回は創刊号をみんな読んで読んで自由に発言しましょうということ座談会が始まったのです。

「そもそもこれが本当に創刊号なのだろうか？」という所から「そう言えばもっと昔に見た記憶が確かにある」との話に発展し、早速ああでもないこうでもない」と話が転がり始めました（注1）

しかしながら小樽別院の年表を辿り昭和五十六年六月発刊のものが創刊号だということ一段落。その当時は新聞の様式と大きさをした。

当時は、現在のご門主が法灯を継承され、ご門主となられた頃でした。

「僕らがちょうど生まれた頃です。」という担当職員の雑談もそこそこに当時の記事へ話がおよびました。

「私、ご輪番から原稿預かって校正してたんですが、この頃はご輪番が全部一人で書かれていました。印刷物はパソコンじゃなくて手書きですし、印刷は写植刷りですから改行や誤字・脱字の訂正は大変だったんですよ」と当時の編集の貴重な話を聞かせてもらいました。

「それにしても文章を書き慣れている感じがするよね、着任当時は五十歳くらいというのもびっくりだよね」

「昔のお寺さんは年配ばっかりだった印象だけだね」意外に知られていない事実でした。

あとは婦人会会員募集の案内で現在三百三十人ほどで門徒数を考えるとまだまだという文言を見てびっくり。桁違いの数にため息。

「当時は降誕会も2日間勤めて、大きな規模だったんだよね」「そういえばご門徒さんの顔写真や文章がずいぶんたくさん掲載されているからいいね」「年度の計画や予定など今、改めて掲載した方がいいものもたくさんあるから参考になるね。」

たしかに昔から変わらずに掲載されているもの（葬儀や法事の相談や申込の原稿）もありました。

さらに読みすすめると、総代参与に次いで肝煎（きもいり）や世話役と呼



↑こちらが表紙にも掲載されている創刊号。

ばれる方、併せて百名ほどの方がお寺に携わってくださっていたことを知りました。

そんなやりとりの中で、「でも、昔の職員さんの名前が出てたり、昔の建物の写真って貴重なものだよ。まさに小樽別院の歴史を語るうえで欠かせない資料だよ、というか唯一の手がかかりだよ」という言葉が発せられました。

改めて思えば、今こうして校正しながら発行させていただいている別院だよりは、その時その時の情報を掲載させていただいていきますので、これが後の資料になる限りはささいな事柄でも掲載し、残していくべきなのだなあと編集委員一同、感慨にふけました。

※注1 後日担当職員で調べたところもつと古い別院だよりが発行されていたという記述が出てきました。しかしながら不定期で刊行されていたようで、昭和五十六年六月第一号と銘打って以降定期的に発行されたものが今回百号となります。

出張撮影・各種証明写真・デジカメプリントDPE・
学校卒業アルバム制作等

写真のたかはし

〒047-0034 小樽市緑1丁目5番5号
TEL/FAX (0134) 22-8959

真心をモットー 安心と信頼 全葬連if 共済会 『if ネット北海道』

小樽典礼株式会社

0120-FreeDial 0120-27-1801
(携帯電話等からもご利用いただけます。)

小樽典礼斎場

小樽市稲穂3-2-10
(当社向い 中央バス中央通りバス停そば)
Tel 0134-22-1801

広告募集 「おたる西別院だより」に掲載して下さる商店や業者等を募集しております。詳しくは **0134-22-0744** 別院だより担当者:森までご連絡ください。

平成二十三年度小樽市功労者表彰

△産業経済部門V受賞

小樽別院責任役員・総代 杉本 守巧氏

このたび小樽別院の責任役員・総代の杉本守巧さんが産業経済部門における小樽市功労者として表彰されました。

北海道トラック協会会長として、全日本トラック協会副会長として東日本大震災以降の救援物資の輸送において知事と協定を結び、あるいは交通遺児への事業を通して運送と交通安全の両面から振興された実績を踏まえての受賞です。

おめでとうございます

物品寄贈者

カトレア

（本堂用五具足）

ご購入いただきましたありがとうございます

小樽別院第三十四代御輪番

（在任期間は平成十二年十一月より平成十六年三月末迄）

片山 晃英 様

（院号法名 響流院釋晃英）が

平成二十四年一月十五日に

ご逝去されました。享年七十一歳。

小樽別院からのお願い

小樽別院に登録されている代表者の方の連絡先が不明になっているご家庭が増えてきております。

左記の場合には必要書類にご記入いただきご提出をお願いしておりますので必ずお寺までお申し出くださいますようお願い申し上げます。

①代表者または納骨堂管理者の転居

②代表者または納骨堂管理者が変更になる場合

※ご印鑑や印鑑登録証明・戸籍謄本、ご本人の署名が必要となる場合がございますので、事前にお電話にてご連絡いただきますようお願い申し上げます。

尚、お盆・お彼岸等別院行事のある場合は、ご希望の日時での納骨やご法事等お受けできない場合がございますので、こちらも事前に別院に日程や時間をご相談ください。

お問い合わせは

電話 〇三三四（二）〇七四四

FAX 〇三三四（二）九四〇八〇

小樽別院寺務所まで

別院門徒物故者

（平成二十四年二月末日現在）

3分間の心のともしび 小樽別院

テレホン法話

24時間いつでも
TEL 27-1616

●テレホン法話担当表

4/ 1(日)～4/15(日)	岡 崎
4/16(月)～4/30(火)	磯 村
5/ 1(火)～5/31(木)	村 田
6/ 1(金)～6/15(金)	森
6/ 1(金)～6/30(土)	門 上
7/ 1(日)～7/15(日)	田 子
7/16(木)～7/31(金)	西川(副)

編集後記

この度、別院だより第百号の編集に携わり、約三十年の歴史をほんの一部ではありますが、振り返らせていただけたことに感謝させていただきます。これも、創刊当時よりの諸先輩方の苦勞の賜と言えるのではないのでしょうか。創刊当時の後記には、「もっと美しい、感じのよい別院」「別院とご門徒の絆を一層結びつけていこう」等の創刊当時の輪番をはじめとする職員一同の伝道・布教に対する熱意が感じられ、また別院だよりを読まれていたご門徒さんと一緒になって小樽別院を護って行く、盛りあげていこう、そんな背景に思いをはせる中での編集であったと思います。仏教では、わが身を省みる・自分自身を見つめていくことを大切にしています。創刊当時の別院輪番・職員思いを私達は、しっかりと受け止めているだろうか？受け継ぐことができているだろうか？ご門徒と別院が一緒になって歩んでいるだろうか？そんな問いを記念すべき第百号を通して感じさせていただきました。

連絡先

本願寺小樽別院

小樽市若松1丁目4番17号 〇134-29-4080

☎0134-22-0744

編集委員

門徒委員	別院担当者
福川ヨシ子	森 敬信
平田 晴己	山邊 出
宮本 和枝	門上 誓淳
竹澤 知恭	

みんな仲よし 小樽幼稚園

～まこと(いのち)の保育を行っています～



当園では、浄土真宗のみ教えに基づき「いのちの大切さ」「自然への感謝」「やさしい心」を育てる保育に努めています。

又、お絵かきや工作などのクラスでの活動の他に、プール遊びや、週に2・3回クラス合同のホールでのリズム遊びなどを通し、異年齢の交流を深めており、年長から年少までみんな仲良く遊んでいます。

是非一度見学にお越しください。（年中見学可能です。事前にお電話でご連絡ください。）

- ☆ **保育時間** → 月曜日～金曜日（8:00～14:00）／冬期間（12月～3月）8:00～13:30
- ☆ **昼食** → お弁当～週2回／給食～週3回（パン食2回／米食1回）
- ☆ **預り保育** → 月曜日～金曜日（17:30迄）行います。（15:30迄は無料です／降園バス有／夏休み・冬休み（8:30～17:00）
- ☆ **プール遊び** → 年間を通して、温水プール遊びを行っています。（年長のみプール指導有）
- ☆ **英会話** → 月2回年長のみ行います。
- ☆ **体操教室** → 月1回年長・年中・年少に分かれて行います。
- ☆ **送迎バス** → ご希望の方は、ご自宅付近まで送迎致します。
- ☆ **主な行事** → 花まつり・降誕会・運動会・親子遠足・バス遠足・いも掘り・報恩講・お遊戯会・おもちゃつきなど。

プレ保育（ならし保育）受付中 ※途中入園可

就園前のお子さんを対象に、毎週1回保育をします。親子一緒に幼稚園に来ていただき、保育者やお友だち、親子の触れ合いを通して、みんなで遊ぶ事の楽しさを味わい、少しずつ集団生活に慣れていただくことを目的としています。

対象	いちご組…満2歳以上就園未満（毎週火曜日）	時間	10:00～12:00
	もも組…3歳児（毎週木曜日）	料金	1回500円

見学もできますので、詳しくはお電話にてお問い合わせください。

園児募集中

※詳しくは、入園案内をごらんください。

満3歳児 若干名
3歳児 30名／4歳児 30名／5歳児 10名

詳しくはお電話でお問い合わせ下さい。

学校法人 小樽龍谷学園

小樽市若松1丁目4番17号

小樽幼稚園 TEL/FAX **0134-22-6536**

